



十人十色

合志市立合志南小学校
学校だより 第19号
令和3年2月1日
文責 校長 松原 弘治

主体的・対話的で深い学びを実現する「学び合い」の授業をめざして (2)

「十人十色」第6号でもお知らせしましたが、「学び合い」の授業をめざした授業づくりに全校で取り組んでいます。先月の27日(水)には、低・中・高学年ごとに、一学級ずつ授業を公開し、その授業をもとに校内研修で3部会に分かれて授業研究会を行いました。

その中で高学年部会では6年2組の社会科の授業で、東京オリンピックをテーマに子どもたちの考えを交流し合いました。子どもたちは、本時の学習までに1964東京オリンピックのことから学んできており、2つの東京オリンピック開催について、戦後日本のあゆみという時間的な視点で、その価値を比較しながら学びを深めて合ってきました。

学び始めた最初の時間に、2020東京オリンピック開催について、子どもたち一人一人が自分の考えを持って学習に取りかかりました。そして、これまでの学習や本時の学習で考えを交流し合うことで、賛成・反対の考えが変わった子も多くいました。今後も、互いの考えをしっかりと聴き合い、学びを深め合う授業を全校で進めていきたいと思えます。



2年1組(国語)の子どもたちの学びの様子



4年3組(体育)の子どもたちの学びの様子



6年2組(社会)の子どもたちの学びの様子

「ユニセフ募金」へのご協力ありがとうございました。

インターナショナル委員会の子どもたちが中心となり、「世界の子どもたちの命や健康を守り、よりよい人生のスタートを切ることができるように」という願いを込めて、先月の18日(月)から22日(金)の期間、毎朝8時から児童昇降口で募金活動に取り組んでくれました。次の委員会活動で集計をする予定です。ご協力をいただきありがとうございました。



ユニセフ募金に、たくさんの子どもたちが協力してくれました。

「大縄選手権」にチャレンジしています。

密集を避けるため、先月18日(月)から練習日を低・中・高学年別に一週ずつ設定し、運動委員会の子どもたちが中心となり、大縄選手権を実施しています。先週の金曜日には、3・4年生が大縄にチャレンジしました。2分間で何回跳べるかを競い合うため、ひっかかって根気よく励まし合いながら頑張る子どもたちの姿がたくさんみられました。



「大縄選手権」にチャレンジする子どもたちの様子(4年生)